

# おまえざき患者支援センターだより



令和5年1月吉日 第70号  
市立御前崎総合病院  
患者支援センター

<https://omaezaki-hospital.jp/>

E-mail [byorenkei@city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:byorenkei@city.omaezaki.shizuoka.jp)

日頃より、患者さまのご紹介や臨床情報の提供・取得をスムーズに行っていただき、心からお礼申し上げます。皆様のご尽力を賜り、地域における当院の役割を担うべく、日々努めさせていただきます。今後も、感染対策へのご協力をお願いいたします。



## 1 内科 初診・総合外来について

当院では、近隣医療機関との連携を図りそれぞれの機能（役割）分担の推進を行っております。

令和5年4月から、内科の初診・総合外来へ受診される患者様に、原則として**受診中の医療機関「かかりつけ医」または開業医からの紹介状を持参された方のみ**受付をさせていただきます。（紹介状をお持ちでない方は、受付できません。）

また、あらかじめ「外来診療申込書」・「紹介状」・「紹介患者新型コロナウイルス関連チェックシート」を地域連携室へFAXいただきますようお願いいたします。

なお、当日の内科受診を希望される方は、紹介状をいただいて医師に確認後、対応を決めさせていただきます。紹介状をご準備の上、地域連携室へお問い合わせください。

受診を希望される患者様に対し受診の制限を設けることは誠に心苦しい限りですが、外来診療体制を維持していく上で必要であることから、ご理解とご協力をお願い申し上げます。





## 2 認定看護師のご紹介

摂食嚥下認定看護師 鈴木 千裕



私たちは、普段意識をしなくても食べものを見て、匂いを嗅ぎ、口に運び、咀嚼し、ゴックンと飲み込むことで食べものを摂取しています。

この一連の動作がうまくいかないことを、摂食・嚥下障害といいます。原因には、脳卒中やパーキンソン病などの神経筋疾患と様々ですが、加齢も嚥下機能低下の一つです。

食べる事は、身体に必要な栄養を補給するだけでなく、美味しいと感じる喜びや、周囲とのコミュニケーションによりその場を楽しみと感じるなど、生きる活力につながります。

高齢化が進む中で最期まで食べることができなくなる高齢者も多く、摂食・嚥下障害は患者様のQOL（生活の質）を考える上で大きな問題となっています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師は、摂食嚥下機能の評価、適切な口腔ケア方法の検討、食事形態や食事摂取方法・体位の判断、誤嚥性肺炎や窒息、低栄養、脱水などの予防や改善を行います。

患者様の強みを捉え、「安全に美味しく食べる」ことを支えられるよう、多職種と連携して看護を提供していきたいと考えています。

現在は、入院・入所されている患者様を対象に活動を行っていますが、施設や在宅で療養されている方の食支援や、介護・看護に関わる家族やスタッフのサポートもできればと思っています。

食べることにすることや口腔ケアなどで困っていることがあれば、ぜひお気軽にご相談下さい。



## 3 整形外科の外来診療について

1月より整形外科の月・木曜日午後の外来診療が予約制となりました。

詳細は外来担当表をご確認ください。

休診等はホームページまたはお電話でご確認願います。

## 4 小児科外来の診療について

1月より小児科 深澤医師の外来診療に変更がありました。

月曜日午後：第2・3・4・5週のみ

金曜日午後：第1・2・4・5週のみ

詳細は外来担当表をご確認ください。休診等はホームページまたはお電話でご確認願います。

